

しゅうりん

第84号

[春号] 令和4年3月1日

発行・臨済宗 大徳寺塔頭 玉林院

〈創建当時の院号、正琳院より〉

桜
一
枝

月岑宗印和尚 四百年遠忌
玉林院開祖

桜：玉林院 客殿庭

永代供養を受け承ります。



詳しいことは、玉林院寺務所まで
ご連絡ください。
電話 075-491-8818

本堂大掃除

3月27日(日曜)

- 午前の部：10時～11時15分（終了後お茶タイム）
- 午後の部：13時～14時15分（終了後お茶タイム）

四百年遠忌法要の前に、お寺に縁のある方で
本堂の大掃除をします。
力のない方でもできる箇所があります。
多くの方のご奉仕をお待ちしております。
終了後、本堂の大廊下で、ご近所で話題になっ
ている菓子屋さんのお菓子とお茶をいただきます。
○ご用意していただくものはありません。
○お子様も参加出来ます。ご家族で重要文化財
の建物を綺麗にしてみませんか。

春の内 ご案内

三月二十一日(月・祝)

●法要（本堂） 11時
●永代供養合同法要
※ 感染対策を取り
法要のみ執り行います。

（永代供養塔前）
II 彼岸法要終了後

玉林院住職 森 玉雲

春らしい日差しを感じる日々ですが、皆様いかがお過ごし
でしょうか。
今の快適な生活は、地球の資源を使うことによつて
得られています。しかし、このままでは持続可能な生活は
望めません。人間の活動が自然環境に悪影響を与える、
その活動を維持できるようにSDGsが呼びかけられて
います。今の日本では、不要な物は手間や費用が
掛かるため簡単に捨てられています。
お寺では、昔からいらなくなつた物を頂き大切に使つて
います。今回の参道及び周辺の整備も、家を処分するに
あたり廃棄される樹木や石を使わせて頂きました。
この整備で禅寺に相応した参道に近づけたように思いま
す。これもSDGs活動の一つかと思つています。



行事 お知らせ

各行事にお出まし下さいよう
ご案内申し上げます。

●印 玉林院関係 ★印 保育園関係 ◆印 福祉関係

4月 5日(火) ●玉林院開祖 月岑和尚400年遠忌（玉林院本堂 11時）

4月 8日(金) ●降誕会〈花まつり〉(大徳寺本山 10時～14時)
大徳寺仏殿に花御堂が飾られます。どうぞお参りください。

- 本山出頭 3月～7月の 1、15、21、22日
- 各寺院開祖忌参列 来光寺、総見院、大光院、大仙院
- 檀信徒月参り
- 玉林院月釜 7日・16日・28日
- ★ 子育てステーション「お遊び会」毎月第2・第4水曜日 10時～11時半
- ◆ 「たつのこ茶会」障がいのある方が、お寺の茶室でお茶を楽しめます。
毎月第2土曜日 15時～



【表紙：桜（さくら）】

禅語：桜一枝

読み方：桜一枝
さくらひとえだ



影：玉林院 客殿庭】

意味：可憐なさくらのひと枝。

禅語には、一枝の春、梅一枝という言葉もあります。

一枝という言葉には、それ以外にないという強調の意
味があります。

玉林院

めぐ
り

■ 4月の月釜

常楽会(7日)- 中止
洞雲会(16日)- 杉野宗加様
玉林会(28日)- 吉田明秀様

■ 5月の月釜

常楽会(7日)- 松山宗泉様
洞雲会(16日)- 佐渡宗育様
玉林会(28日)- 清水みどり様

■ 6月の月釜

常楽会(7日)- 多門宗粒様
洞雲会(16日)- 松本宗朝様
玉林会(28日)- 池下享子様

■ 7月の月釜

常楽会(7日)- 分林宗智様
洞雲会(16日)- 宮崎庸庵様
玉林会(28日)- 藤嶋泰行様

※今後の感染状況により、人数制限や休会に
なることがあります。

※それぞれの会の会員章は令和2年度(昨年)の
会員章をそのままお使い下さい。

感染予防での制限された生活も三年目になります。又、新たな変異株の流行で子どもへの感染が以前より深刻化しています。保育士さんは毎日神経をすり減らし、安全に子ども達が過ごせるように気を配っています。子ども達の楽しい行事や遠足なども行えない一年でしたが、日々の保育に工夫を凝らし、お寺の境内や近くの船岡山などで自然にふれあえる機会を持ち、子どもの成長を支えております。



おもちがビター～～～
仲良く並んで「いただきま～す」



鏡開き。炭でこんがり焼きました。



子どもたちへの空から贈り物。



見て見て、雪だるまつくれるよ♪

日なみ・月なみ ほいくえんの四季

1月

- ★作品展（絵、工作も展示しました。）
- ★鏡開き（仏様にお供えしたお餅を焼いていただきました。）



2月

- ★節分（年長さんが鬼役に。やさしい鬼さんでした。）
- ★保育園涅槃会（お釈迦さまのお亡くなりになった日。みんなで「ねはん図」をつくりました。）
- ★ぼくたち、わたしたちの発表会（劇遊び、リズム遊び、鉄棒やなわとびも披露しました。）



お知らせ

3月

- 3月14日(月) 初代園長ご命日（園児がお参りします）
- 3月25日(金) ミニコンサート（ホルン演奏 玉林院本堂前の庭で）
- 3月26日(土) 卒園式（27名）
(お参りやお茶の時間で過ごした本堂で行います)



5月 5月中旬 保育園花祭り（玉林院 本堂）

4月

- 4月2日(土) 入園式（玉林院 本堂）
- 4月5日(火) 玉林院開祖忌
月岑和尚 400年遠忌法要
- 4月8日(金) 花祭り（大徳寺本坊）



子育てステーション「お遊び会」
毎月第2、4水曜日 10時～11時半

保育士と0～5歳児のお子さんが遊ぶ会です。
保護者同伴でどなたでも参加できます。（無料）
開催については、電話でお確かめください。

月岑宗印和尚は本山の142世で、古溪宗陳和尚の弟子であり、
後水尾天皇から「大興円光禪師」の号を賜りました。
室町幕府の崩壊後の動乱の時代を生き、秀吉により九州への配流や、
大徳寺一山の破却の命を受けた際も師匠古溪和尚に近侍し苦難をともにしました。
慶長8年(1603)玉林院を建立しましたが、六年で火災に見舞われ焼失し、
十二年かけて創建当時と同じ規模の本堂(現存する本堂)を完成させました。
大徳禪寺誌に「月岑みずから衣盃をつくし」と再興に向ける熱意が記されています。
そして、その翌年63歳で遷化されました。

玉林院開祖

月岑宗印 四百年印 遠忌和尚



◎記念茶会の申込み方法

- ①6月より「振込取扱票」を玉林院月釜受付、月釜担当の先生、又は寺にてお渡し致します。
 - ②指定の口座に茶券代をお振り込みください。振込確認後、記入された住所に茶券を郵送致します。
 - ③同伴者がいる場合は代表者がまとめてお振り込みください。
(別々に振り込むと同じ茶席のお入りになれません。)
- *コロナ感染予防のため、先着400名と致します。

※ご不明な点は、茶会受付又は、
寺にお尋ねください。電話:075-491-8818

■法要 ■ 令和4年4月5日(火)

■記念茶会 ■

日 時 令和4年10月29日(土)・30日(日)

会 場 玉林院 総見院

会 費 35,000円

濃茶席 担当:玉林院

薄茶席 担当:洞雲会 常楽会 玉林会 *創会順

点心席

展観席 野村美術館

主 催 玉林院茶の湯 護持会

◎ 収益は遠忌記念事業である、文化財修理の費用に充てます。

重要文化財 高麗仏画「釈迦如来像」、重要文化財 南明庵「赤楽の敷瓦」



釈迦如来像

重要文化財 高麗仏画 「阿弥陀仏画」について

玉林院所蔵の高麗仏画は、本来「阿弥陀仏図」として描かれたものでしたが、日本に渡り「釈迦如来仏像」としてあがめられました。当院では文殊、普賢の脇侍菩薩像とともに釈迦三尊図の形態となった三幅対として伝わっています。

玉林院の釈迦如来像は、端正なお顔の表情。朱の袈裟に金泥で精密に描かれた蓮華文。時を経ても鮮やかな赤の顔料の使用等から、十三世紀末から十四世紀前半（日本では鎌倉幕府時代）の高麗文化の最盛期に描かれたものと考えられます。

しかし、700年に及ぶ年月を経て、玉林院の釈迦如来像も、蓮華文や各部の剥落が進み、専門家から早期修復の必要を提言されました。

この度、各界の皆様のご尽力で修理に取りかかれることになりました。この貴重な仏画が数百年後の次の世代に伝えられることを願っています。

（注）朝鮮半島で470年間に渡り仏教文化を華開かせた高麗で描かれた仏画は、現在世界に165点あまりしか確認されておらず、その内100点以上が日本に伝わっている。



重要文化財 南明庵 「樂焼敷瓦」について

南明庵は、寛保二年（1742）大阪の豪商鴻池了瑛が、玉林院八世大龍和尚にはかり、表千家如心斎の好みによって造られた位牌堂と茶室です。山中鹿之助（鴻池の祖）の位牌堂の両側に「蓑庵」「霞床席」という二つの茶室を有しています。

蓑庵は、天井を三段に変化を見せ、中柱には赤松の曲がり柱を用い、壁は侘びたすき壁でめぐらせた草庵造りの小間の茶室です。

霞床席は、床に違棚を組み入れ、格天井、貼り付け壁と書院風ですが、柱は杉丸太、床の枠は煤竹を入れ、書院と草庵との融合を図った茶室です。この席は、違い棚を“霞”として、棚と壁の間に富士の軸をかけることで名高いです。

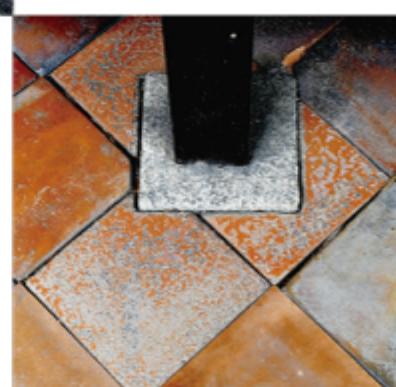
又、南明庵の基壇は、樂長入作の赤樂の敷瓦がはめ込まれていることでも知られています。

この度、楽直入様からのお申し出で長年の風雪で傷んだ約百数十枚の敷瓦の補足にとりかかっています。

（注）基壇とは、敷地より一段高く造った建物の基礎。その敷石に樂焼きを使っているのは全国でも南明庵だけです。



赤樂の敷瓦



玉林院日單

「日單」とは、禪宗寺院の日記のこと

●印：玉林院関係
★印：保育園関係
◆印：福祉関係



▼12月 11日 • 大徳寺本山出頭

▼1月 1、2、3、8、9、10、15、16、17、21、22日

• 大徳寺本山出頭

16、17日 • 洞雲会・常樂会 初釜（玉林院担当）

▼2月 1、15、21、22日

• 大徳寺本山出頭

12日 • 大徳寺僧堂 講了式

15日 • 涅槃会（大徳寺仏殿）

（仏殿に大きな涅槃図が掛けられました。）

28日 • 利休忌（中止となりました。）

• 開祖忌参列 総見院、大光院、大仙院（中止となりました。）

• 各御家元初釜出席（中止となりました。）

• 月釜（1月、2月＝7、16、28日）

• 檀信徒月参り（ご希望の方は、寺までお申し出ください。）

◆たつのこ茶会（毎月第2土曜日）

青年仏教講

第十八回 曹洞宗

編集後記

※一 曹洞宗は中国禪宗の一派、中国曹洞宗を道元禪師が日本に伝えました。

道元は十四歳で出家し比叡山で天台教学を学び、京都にある臨済宗の建仁寺で明全の元で禪を修めました。その後一二二三年に宗（中国）に渡り臨済宗さらに曹洞宗を学び四年後には帰国し、建仁寺に入りました。一二三三年に興聖寺を開創し、修行者の養成と人びとの教化を始めたのが、日本の曹洞宗の始まりです。しかし道元は、外部からの介入を排除する「宗派」と言う考えを否定おり、弟子たちに特定の宗派名を称することを禁じていました。

第四祖の瑩山禪師の頃から曹洞宗という名を用いるようになり、大きく発展しました。よって曹洞宗の宗祖は、高祖 道元禪師、太祖 瑩山禪師の2人であります。また、道元がさらなる修行の場を求め福井県の山中に開いた永平寺と、瑩山が開いた總持寺の二寺が大本山になります。曹洞宗の教えは、「只管打坐」といわれ、ひたすら坐禅に打ちこむ「默照禪」を行います。すなわち、何も考らず、悟りすら求めず、ひたすら坐禅をすることにより釈迦の悟りに直結していふと道元が説きました。

次回は黄檗宗について考えていきます。

玉雲 合掌

※一：中国の禪宗五家（曹洞、臨済、鴻仰、雲門、法眼）の一つである。

※二：一二〇〇一一二五三年 京都の公卿・久我家（村上源氏）の生まれ。

※三：京都府宇治市にある曹洞宗の寺院。日本曹洞宗最初の寺院である。

※四：神奈川県横浜市にある寺院。一二九一年に石川県鳳至郡門前町から現在地に移転。移転前の寺院は總持寺祖院として現存。

「しうづらん」第八十四号

発行日 二〇二二年三月一日

発行 大徳寺塔頭 玉林院

〒六〇三一八二三一

京都市北区紫野

大徳寺町七四

電話 ○七五四九一八八一八
FAX ○七五四九一三二二三二

▼遠忌法要、記念事業を執り行うにあたり毎日右往左往しております。実は老僧は今年歳男です。十二月生まれ故、卯年に近い大人しい虎なのでしょうか。いえいえ、虎視眈々と竹藪に潜む虎のごとく、この大事業を静観し、側面支援してくださいます。八十歳を超えた老僧と住職が一丸となつて取り組めることを喜んでおります。（雅）

▼開祖四百年遠忌も間近です。記念事業である文化財修復もそれぞれの専門家の手で進められています。そして修理費用について多くの方からご助言、お力を頂いております。本当にありがとうございます。私といえどこれら事務仕事に追われて気忙しい毎日を過ごしております。春光さす本堂に座していると、そんな私を仏様や歴代の和尚様が見守つてくださっていることを感じ、力が湧いてきます。（穂）